

第12回 日中韓文化大臣会合 北九州宣言

日中韓文化交流の「新たな時代」を迎えて

2021年8月30日、第12回日中韓文化大臣会合が日本・北九州市で開催され、萩生田光一（日本国文部科学大臣）、胡 和平（中華人民共和国文化・観光部長）、黃熙（大韓民国文化体育観光部長官）（以下、三者という）がオンラインで意見交換を行った。

昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大により、各国の文化セクターは極めて深刻な影響を受けている。他方で、世界全体が困難に直面している中、文化芸術は、人々を癒し勇気づける重要な役割を果たしている。日中韓三か国は、ともに連携して、東アジア地域の多様で活力のある文化芸術活動の発展・継承を守り抜く覚悟である。

三者は、コロナ禍後の文化芸術及び文化交流が、新たな発展を遂げることを確信している。三者は今後も、文化芸術活動の再開・発展・継承を支援する取組についての意見交換や情報交換を継続し、三か国の様々な文化芸術関係者が、適切な感染対策をとりながら、各国との文化交流事業を再活性化し、新たな創作活動に集中できるよう連携して取り組んでいく。

また、三者は、第11回日中韓文化大臣会合にて署名された「仁川宣言」でも言及された、「文化と科学技術の調和と均衡のための協力」をより一層推進し、コロナ禍後の新たな時代において、最先端技術を活用した新しい文化芸術や新たな文化発信のあり方を国際社会にも提示していけるよう、三か国の連携を強化していく。

上記の認識に基づき、三者は以下の通り日中韓の文化交流を推進していくことで一致した。

1. 東アジア文化都市のブランド力を向上させ、都市間交流を強力に推進していく

- 三者は、2021年の東アジア文化都市として、北九州市（日本）、紹興市及び敦煌市（中国）、順천시（韓国）を選定し、2022年の東アジア文化都市として、大分県（日本）、温州市及び済南市（中国）、慶州市（韓国）を選定した。三者は、コロナ禍後の文化交流の継続に向けて、東アジア文化都市による都市間連携を、力強く推進していく。
- 三者は、過去の東アジア文化都市との交流を奨励するとともに、ASEAN 文化都市や欧州文化首都との交流と協力を推進し、東アジア文化都市の国際ブランド力を絶えず向上させるとともに、日中韓の文化芸術の魅力や文化的価値を、世界に向けて発信し続ける。この観点から、三者は、様々な方法を活用し、東アジア文化都市、ASEAN 文化都市及び欧州文化首都を招待して東アジア文化都市サミット等様々な交流活動を展開していく。
- 三者は、東アジア文化都市の共通のロゴと証書の作成について検討を行うとともに、東アジア文化都市の選定基準について議論を継続する。また、東アジア文化都市の持続的な発展のため、各界の専門家や有識者の参加、日中韓三国協力事務局による支援を歓迎する。

2. 文化芸術機関間の実務協力を推進する

- 三者は、「日中韓芸術祭」、「日中韓文化芸術教育フォーラム」、「日中韓学生アニメーション共同制作」等の日中韓の主要な文化協力事業が、相互理解と文化芸術の発展、文化の多様性増進に重要な役割を果たしていることを高く評価し、今後も着実に実施していく。また、三者は、「日中韓芸術祭」等の取組をより発展させ、日中韓の文化人・芸術家が直接交流する機会を創出できるような具体的計画について検討していくとともに、日中韓の文化芸術の魅力や文化的価値を世界に向けて発信できるよう協議していく。

- 三者は、各国の国立博物館・美術館、国立図書館、国立劇場等、公共の文化芸術機関や民間の文化芸術機関間の緊密な連携が、日中韓の文化交流を支えていることを再確認した。また、三者は、各機関が、新型コロナウイルスの感染抑止と文化芸術活動の両立を実現すべく取り組んでいることを高く評価し、その取組を共有していく。さらに、三者は、日中韓の文化芸術機関間のパートナーシップの更なる強化を通じ、この地域の文化芸術分野の取組の質の向上や、そのグローバルなブランド力とプレゼンスの向上を、共に目指していく。

3. 文化産業と観光業の持続的発展を促進する

- 三者は、文化産業の技術開発と応用、及び人材育成等の領域における交流と協力を強化し、三か国の文化産業の更なる成長のため努力する。また、三者は、「日中韓文化コンテンツ産業フォーラム」など日中韓の共同事業が、三か国の文化産業の交流と発展に貢献していることを認識し、これらの事業の開催を通じて三か国の文化産業の連携を一層推進し、より多くの成果を生み出していく。
- 三者は、著作権保護の重要性を再確認し、正規版コンテンツの流通促進と海賊版取締り、著作権保護意識の向上のため、協力と交流を強化していく。
- 三者は、文化と観光を融合することにより両者を同時に発展させる方策について意見交換を行い、それぞれの文化観光資源の価値向上、文化観光交流の再活性化に向けて協力する。

4. 文化遺産保護に向けた連携を強化する

- 三者は、有形・無形文化遺産の保護及び継承発展のため、三か国の情報・意見交換を一層強化し、有識者・専門家間の交流を支援することの重要性で一致した。無形文化遺産については、無形文化遺産継承者の相互交流も奨励していくとともに、その保護のための協力につき模索する。

5. オリンピック・パラリンピックを契機とした共同文化芸術プログラムを実施する

- 2018年平昌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会に際して行われた日中韓共同文化プログラムは積極的な成果を収めた。三か国は引き続き東京オリンピック・パラリンピック競技大会及び北京冬季オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、共同文化芸術プログラムを実施する。

日本国	中華人民共和国	大韓民国
文部科学大臣	文化・観光部長	文化体育観光部長官
萩生田 光一	胡 和平	黃 熙